

研究員 NOW!! No.3 ~ 第2次授業研究を終えて ~

単元「風水害からくらしを守る」

風水害への対策について調べた後、学習問題「風水害による被害をさらに減らすために、誰が何をするとよいのだろうか。」を新たに設定し、事前に個々で考えた解決策を基に、話し合い活動を行いました。子どもたちは、解決策の効果や解決策に掛かる手間や費用といった視点を基に、自他の考えた解決策を比べ、自分の考えを見直していきました。授業の終末には、具体性や現実性のある望ましい解決策を考え、まとめることができました。

【東桜小 春野 裕介】



単元「江戸幕府と政治の安定」

これまでの武士の政治と徳川家による政治との違いを比べ、なぜ江戸幕府の政治は長続きしたのか、といった気付きや疑問を集めて学習問題を設定しました。そして、個々で解決すべき問いを立て、調べ学習を進めました。調べる段階の終末には、学習内容を振り返り、互いの学習成果について、自己評価や他者評価を行いました。会話で行う評価活動を通して自らの学習状況を把握し、それを基に次時の学習計画を見直すことで、次の学習への見通しをもって問題解決に向かうことができました。

【上名古屋小 荒木 健太】

単元「地震からくらしを守る」

学習問題「大きな地震から命やくらしを守るために、だれが、どのようなことをするのか」を設定し、地震から人々の命やくらしを守る働きについて調べ、目的や働きのつながりを考えました。「手間を掛けて取り組んでいること」に着目したことで、「何のために」という目的を考えることができました。また、「大切にしていること」という視点で分析し、それぞれの働きの共通点に着目したことで、働きのつながりを考えることができました。

【栄小 坂野 寛明】





単元「風水害からくらしを守る」

「QFT」の手法を用いてパフォーマンス課題「風水害からくらしを守る取組について調べ、市民の風水害に対する防災意識を高める提案をしよう」を設定し、「MI理論」を基に、子ども一人一人の才能が発揮されやすいグループを編成し、協働して学習に取り組みました。「社会の課題の解決策を考える段階」では、「MIセッション」を行いながら防災意識を高める提案についてまとめたことで、自分の考えを練り上げ、よりよい解決策を考えることができました。

【橘小 田中 健一】

単元「わたしたちの生活と森林」

単元の終末で、外部人材として愛知県庁の林務課の方々を招き、森林や林業の課題を解決するための未来解決会議を行いました。子どもたちは、「森林や林業を守るために、誰が何に力を入れるべきだろう」という学習問題に対して、自分の考えた取組のメリットとSDGsの目標とを結び付けながら、国産材の消費量を増やすための取組や林業従事者の高齢化に対する取組について次々に発表していました。また、友達や外部人材の方々の意見を取り入れながら、持続可能な森林や林業について、自分の考えを深めていくことができました。

【植田南小 岡 沙織】



単元「日本の諸地域 中部地方」

学習課題「中部地方の農業の課題を解決するために必要なことは何だろうか？」を設定し、中部地方の産業の中でも農業に焦点を当てて、「SRシート」を活用し、単元を見通しながら調べ学習を行い、毎時の振り返りを記述していきました。その後、「サステナブルシート」を用いてSDGsの目標と結び付けながら、課題や取組について考え、単元の終末に学級全体で中部地方の農業の課題について討論を行うことで持続可能な社会について考えることができました。

【藤森中 長谷川 裕記】

